

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Lコート

試合区分: No. 113 成年男子 準決勝

期 日: 2006(H18)年10月3日(火)

主審: 藤垣庸二

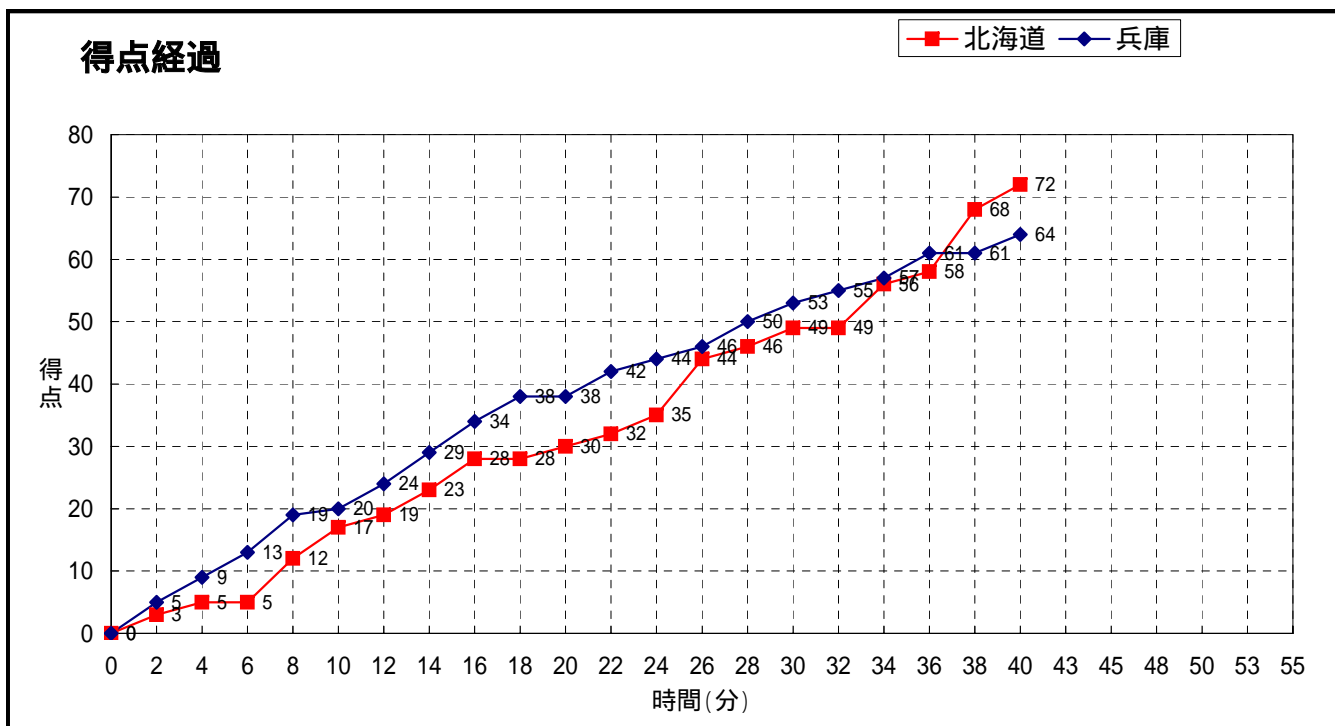
開始時間: 10:00

副審: 梅本哲三

終了時間: 11:32

北海道						72					64						兵庫				
(北海道)											(開催地)										
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F						
4	*	義達 智	13	1	3	4	2	4	*	川地 昌吾	10	0	5	0	1						
5	*	片桐 圭裕	5	0	1	3	2	5		沼波 望	9	3	0	0	2						
6	*	広瀬 慎一	1	0	0	1	3	6		田原 翔	0	0	0	0	0						
7	*	後藤 崇	29	7	3	2	4	7		松本 義久	4	0	2	0	4						
8	*	片山 貴雄	6	0	2	2	2	8	*	吉本 為理	2	0	1	0	1						
9		込山 覚徳	14	3	2	1	2	9		二杉 光亮	0	0	0	0	0						
10		宮腰 裕一	0	0	0	0	2	10	*	濱田 卓実	14	0	5	4	3						
11		大西 弘太郎	-	-	-	-	-	11	*	城山 大樹	17	2	5	1	1						
12		大塚 隆広	-	-	-	-	-	12		樋口 義規	0	0	0	0	1						
13		山本 洋平	0	0	0	0	1	13	*	熊谷 尚之	2	0	0	2	5						
14		竹中 克守	4	0	1	2	2	14		阪下 博則	2	0	0	2	3						
15		牧 佑一	0	0	0	0	0	15		永山 剛	4	0	2	0	2						
コーチ		坂井 良昭						コーチ		塚本 清彦											
合計			72	11	12	15	20	合計			64	5	20	9	23						

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、北海道はマンツーマンディフェンス、兵庫はゾーンディフェンスでスタート。開始1分兵庫#8吉本が先制するも、お互い攻めあぐむ。兵庫は#11城山、#4川地の得点でリズムを作る。北海道はゾーンディフェンスを崩せなかったが、途中出場の#9込山が連続3Pシュートを決める。その後両チーム加点し、兵庫が20-17とリードして第1ピリオド終了。

第2ピリオド、北海道はスタート直後に#14竹中がフリースローを2本とも決め、1点差とする。兵庫は、ゾーンからの速攻や#5沼波の3Pシュートなどで再びリードを広げる。北海道はディフェンスを厳しくするが、点差は縮まらない。一進一退の攻防が続く38-30と兵庫がリードを広げ、前半を終了する。

第3ピリオド立ち上がり、お互いインサイドで得点を重ねる。北海道は#7後藤#9込山の連続3Pシュートで点差を縮めようとするが、兵庫も速攻で対抗する。残り11秒、北海道はスチールから1点差に詰め寄るが、終了間際に兵庫#11城山の3Pシュートが決まり53-49と兵庫のリードはかわらず第3ピリオド終了。

第4ピリオド、立ち上がり、両チーム譲らず得点を重ねる。残り6分、北海道#4義達のフリースローにより北海道が逆転。その直後兵庫は#15永山の得点で再度逆転。残り3分、北海道#7後藤、#4義達の連続3Pシュートで逆転し、さらにリードを広げる。兵庫は残り2分、たまたずタイムアウトを取る。その後、兵庫はオールコートプレスディフェンスで北海道のミスを誘うが、得点に繋げることができず、72-64で北海道がシーソーゲームを制し、勝利をおさめた。

担当者: 平井 省吾(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会